

東播磨地域未来フォーラム（令和3年8月8日開催）  
ワークショップ「30年後、もしあなたが〇〇だったら」結果

A グループ

個性を尊重される社会の将来像に向けて、若者が選挙（の投票）に行き、もっと政治に関心をもつ

高齢者のためのことが中心になっているが、若者が選挙に参加して、変えていく。これから生まれてくる子供たちのことを考えていければいい。

若者に政治関心を持ってもらう解決策：Twitter など SNS 関連を利用して、若者に政治に参加、関心をもってもらう

選挙は特定の場所に行かないといけませんが、可能であれば、家からでもできるようにするなどして、ハードルを下げる。

子どもたちの理想の将来像を作るためには、しっかりしたお父さん、お母さんの教育が必要なので、そこも重視できれば。

個性を尊重する社会にするには、まず、自分たちがお互いを尊重しないと行けないという意見がでた。

<該当する方向性>

方向性2：子育てしやすい環境

「家族ぐるみ、地域ぐるみの子育て支援を充実させる」

方向性2：多様な人々が混じり合い支え合う社会

「パートナーシップ制度など多様な生き方を支える制度や環境を整備する」

B グループ

今の環境、美しい自然を残すためにできること

まず、ゴミを減らす。まずは、ゴミはゴミ箱に入れること。

つぎに、若者が選挙に行き、投票率をあげる。

若者の意見を通しやすくなるには、選挙に行き、投票率をあげる。

つぎに、人との関わり。

具体例：地元の祭りなど、参加することにより新しい人と出会い、価値観と出会う。それと同様に、地域でのボランティア活動やイベントなどへの参加を通して、知らない人やものを知り、つながりを広げることにより、考え方も変わり、環境

に関する話なども含め、様々な課題解決へ発展するのではないか。

<該当する方向性>

方向性3：ゆるやかにつながる地域

「ゆるやかにつながれる居場所があり、関心で結ばれた地域コミュニティやテーマコミュニティが、身近な地域課題の解決のための様々な活動を展開する」

## C グループ

### 鳥の視点からのため池の保護

30年後にため池を扱う田んぼなどが少なくなっているかもしれない。

ため池の価値をあげることが必要では。

具体例) ため池に関するポスターをつくる。小中学生に描いてもらいコンクールを開くのも良い。ため池の価値をあげていくために、そういう地道な取り組みを進める。

ため池を中心とした自然公園を作る。これにより、鳥たちも集まり、まちの活性化にもつながるといった意見がでた。

<該当する方向性>

方向性5：自然環境や景観への配慮

「多様で豊かな水辺空間を認識し、地域の財産としての意識を向上させるための工夫を凝らしたイベントやキャンペーンを行う

## D グループ

### 自然破壊をどうやって食い止めるか、自然を大切にするにはどうするか

自然に対する考え方、自然破壊についての考え方を子どもたちに教育する。

大人だけでなく、子どもたちから自然について学ぶことにより、環境も変わっていくのではないか。

具体例：AI、ロボットなど活用してプログラミングを使いながら、親子でため池で生態系を破壊している外来種を駆除する教室など・・・

こういうことをすることにより自然自体も保護されるし、地域の活性化にもつながるのではないか。

<該当する方向性>

方向性5：自然環境や景観への配慮

「次代を担う子どもたちに自分たちの暮らす地域の自然環境の実情や課題を伝える多世代交流を通じて地域理解を促進する」

## E グループ

### 30年後に生まれてくる赤ちゃんの視点で

赤ちゃんが安心安全な社会と、それに向けての取り組み。

公園という場で活動する。

安心安全という点では、緑を増やす。犯罪の予防をする。

地域の人が公園に意識を向けるための取組として、園内に農園を作ると、水やりなどの世話が必要になる。

野外ステージという案も出た。

いろいろな世代の人が、公園という交流できる場につながることによって、地域の課題となっていることが解決できるようになる。

<該当する方向性>

#### 方向性1：防犯力の向上

「住民一人ひとり自らの安全確保に対する意識の向上を図る」

#### 方向性2：子育てしやすい環境

「安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のない支援が可能な、環境を構築する」

「家族ぐるみ、地域ぐるみの子育て支援を充実させる」

## F グループ

### 東播磨は、歴史や自然が豊かな地域。郷土愛を持って伝え残していくために

それに対してどうしていくか。

→自分たちの暮らす地域の魅力に気づくことが必要

どうすれば気づいてもらえるか。

→若年層であれば SNS。それ以外は、ローカルのサンテレビなどで情報を発信する。共感できるストーリーが必要。

例：大中遺跡は小学生がたまたま発見したというエピソードなど

共感を覚えやすいストーリーを起こしていけばいいのでは。

<該当する方向性>

#### 方向性3：地域の歴史と伝統への愛着

「地域に根付いた住民同士の結びつきの強さ、祭りなど伝統・文化の良さという強みを活かし、地元に対する愛着（地元愛）」を持つ心を育む

方向性4：自分たちでつくる、住み続けたいと思えるまち

「自然や景観の美しさ、文化的な価値などを地域の文化や歴史などを含めた意味や関係性で読み解き、伝える人材（インタープリター）を育成する」

## G グループ

これから生まれてくる子供たちの30年後について

東播磨は、働くところが少ないという課題がある。

都市部へのアクセスの良さと田舎の良さのどちらもある、という強みをアピールする。

ただ、地域（田舎）の魅力が気づきにくいという問題。

地元民が地域の魅力を知らないという問題の解決法。

→地元民にインスタ映えするスポットを教えてもらうことにより発信し、若い学生が街歩きをすることにより魅力を発信。できるのではないか。

インスタ映えでは、単に場所ではなく、田舎の良さをだした、おじいちゃん、おばあちゃん、子どもたちなど、さりげない風景。

東播磨が力を入れている「このとりの棲める環境の保全」などピックアップして発信するのがいいのではないか。

AIの発展とともに、子どもの見守りなど強化して、安全なまちという魅力を発信するなど

<該当する方向性>

方向性3：地域に根ざした観光資源の活用

「自然が豊かで歴史的資源も多く、ご当地のB級グルメも地域内外に浸透するなど魅力は十分なことから、観光プロモーションなどの発信力を高める」